

玉石底から溪流相までバラエティーに富む絶景空間

くまのがわ 熊野川 (熊野川漁業協同組合管内)

かつて新宮川と呼ばれ新宮市から田辺市に広がる熊野川は近畿でも最大級の河川。和歌山県側の漁区である4つの大きな支流と北山川合流点から本宮付近までの本流それぞれに独特の素晴らしい顔を持っている

解説◎森岡達也



2013年7月24～25日の2日間、熊野川の各ポイントで森岡達也さんと喜多幅武さんが実釣調査



赤木川上流、小口自然の家付近での釣果



高田川の上流、里川の大坪橋付近で軽快にアユを引き抜くのは喜多幅武さん



穏やかに流れる本流筋の敷屋大橋付近。フラットで広大な玉石底、そのすべてがポイントといっても過言ではない



四村川は野竹の吊り橋下流。魚体が美しい香り高いアユが掛かった

水質抜群で 旨いアユが育つ

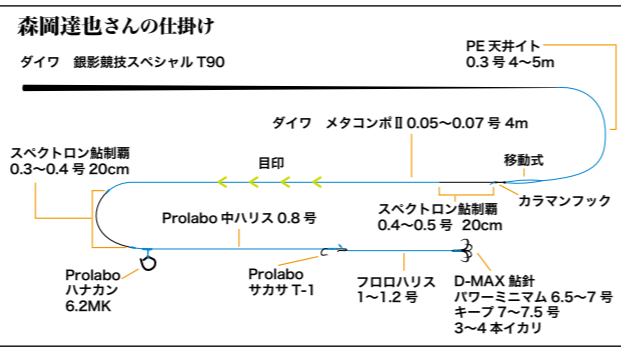
熊野川は奈良県南部の大峰山脈の山上ヶ岳付近に源を発し、大台ヶ原を水源として紀伊半島を南流し北山川と合流。和歌山と三重の県境で熊野灘に注ぐ1級河川。全体の流域面積は2360km²と近畿では3番目に広く、河川の延長は183kmで近畿で一番の長さを誇る。山地が多く勾配が急で雨も多い熊野川水系は水量豊富で水質抜群。豊かな自然環境、透明度の高い清流、美しい景観が楽しめる最高のフィールドだ。

和歌山県側の熊野川漁業協同組合が管轄するのは北山川合流点より上流の熊野川本流と大塔川、四村川、赤木川、高田川等の支流。すべてがアユ釣りファンにとって魅力的な釣り場となっている。

熊野川本流は水量豊富で小砂利底、玉石底が広大に続く起伏が少ない女性的な川相。見た目に変化が少なく、どこを釣つたらよいか分かりにくい。川面に出る波の変化や勾配、底石によってできるわずかな変化を見逃さず、広範囲にオトリを泳がせるイメージで釣りを組み立てる。

穏やかな流れではあるが想像以上に押しが強いので、オトリを底石付近でしっかりと安定させることが何より優先される。ノーマル仕掛けだけでなく背バリやオモリの使用も考えたほうがよいだろう。

大塔川、四村川、赤木川、高田川も場所によっては広大で水量も多く流れも複雑。支流とは思えないようなポイントが多くある。どの支流も漂流相の起伏に富んだポイントとフラットなポイントが共存し、綺麗な玉石と透明度抜群の水が魅力。その流れに育まれた香



り高いアユの味は最高だ。本流に比べるべくも大きく岩盤底や淵、トロ、チャラ瀬なども多くあるので目移りするが、得意の釣り方や自分の好みに合った河川を選んで釣行すればよい。

本流、各支流ともアユの放流には力を入れてるので初期から終盤まで釣期が長く、天然遡上の量や水温などの自然条件で若干変動はあるが、例年11月後半まで充分楽しめるのも熊野の魅力だ。

周辺には温泉、宿泊施設、レジャー施設なども多く、釣り三昧ももちろんよいが、ときにはゆっくり温泉でもつかったのんびりするのよいだろう。宿で焼いてもらうその日に釣ったアユの味は格別だ。

また流域にある熊野本宮大社や熊野速玉大社、これらの神社を巡る熊野川を含んだ参詣道は2004年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されている。



13 左岸側が護岸整備されている第二自然プール前はチャラの釣りやすいポイントが雲取温泉裏まで続いている



15 菅原口。両サイドは護岸整備されているが玉石に大石がまじる好ポイント



11 大石ゴロゴロの溪流相のポイント。ピンポイントを拾い釣りする。増水時によい



12 西川の上流部。駐車場、トイレ、休憩所がある。良型で味のよいアユが釣れる



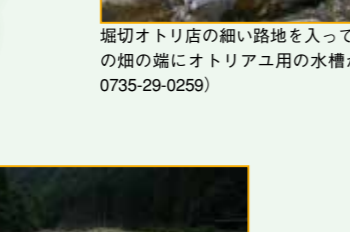
10 郵便局の瀬。平瀬の連続で左岸から釣るほうがベター。川幅が狭いので静かにねらいたい



9 早瀬とチャラ瀬が100mほど続きトロ場もある変化に富んだポイント。右岸に立って左岸側をねらう



8 第一自然プール下。玉石底の瀬が連続する好ポイントで右岸立ちメインで石の周りをたねんに釣る



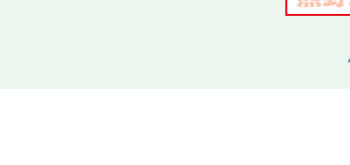
7 7～8月、水がきれいな高田川を仕切って開放される自然のプール。駐車場、トイレもあるので便利



6 出張(でばり) 桑ノ木橋 相賀八幡神社



5 出張。右岸に絞り込まれた瀬とヒラキの瀬がねらいめ。上流にはトロ場がある



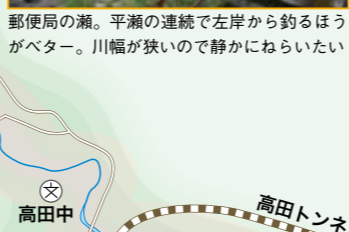
4 桑ノ木橋の上流に早瀬、トロ、瀬とポイントが連続。大きめの石が入っている早瀬の絞り込み(左岸側)もねらいめ。中間のヒラキは泳がせ釣り。ポイントが多いので広範囲に探ること



3 分岐した高田川の里川側すぐにある温泉宿泊施設で11～21時は入浴のみの利用もOK。泉質はアルカリ単純泉で筋肉痛や冷え性に効果あり



2 大坪橋の上流側、下流側とも大小の玉石がびっしり入った瀬が連続するポイント。小さな流れ込みの手前から入川する



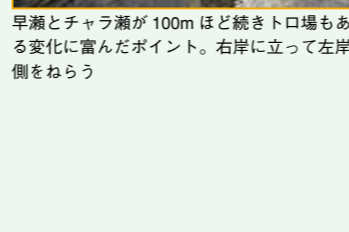
1 新宮方面から国道168号を熊野川沿いに北上すると最初に合う支流が高田川。河口が狭く水量も少なく見える「こんな河川でアユ釣り？」と思うかもしれないが、意外と開けたポイントが多くある。増水時の避難的な釣り場と考えておられる方も多いが、遡上に加えて放流もしたりしているのが個人的には隠れた好ポイント河川というイメージだ。流域は短いが高田トンネルまでも数カ所よいポイントが連続する。道沿いに河川が流れているので石の磨かれ具合をしっかりと見て入川したい。高田郵便局周辺にも、しっかりとした石組みのよい瀬とトロ場が連続する好ポイントがある。水質がよく透明度もかなり高いので、できるだけポイントから離れてサオをだすことを心がけたい。ここからすぐ上流で川は二又に分かれ、分岐点付近に雲取温泉とオトリ店がある。この二又に分かれた川は通称で西川と里川と呼ばれており、里川のほうが水量も多くポイントも多い。写真は少ないが雲取温泉にもよいポイントがある。西川はどちらかというと大石ゴロゴロの溪流釣りという感じになるので、8m前後のサオでピンポイントをねらうと面白い釣りができる。



18 雲取温泉



17 雲取温泉



16 雲取温泉



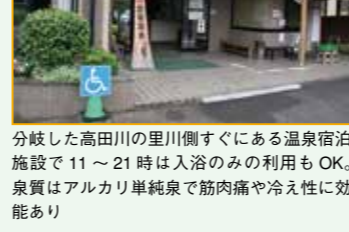
15 雲取温泉



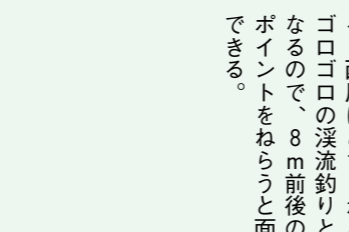
14 雲取温泉



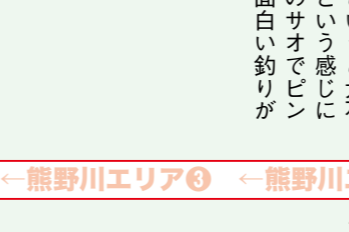
13 雲取温泉



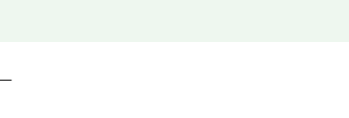
12 雲取温泉



11 雲取温泉



10 雲取温泉



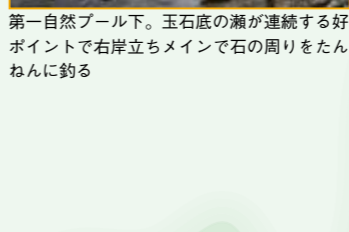
9 雲取温泉



8 雲取温泉



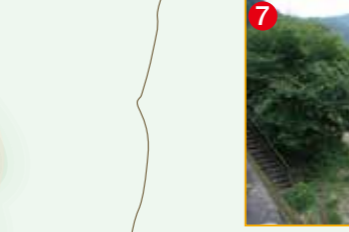
7 雲取温泉



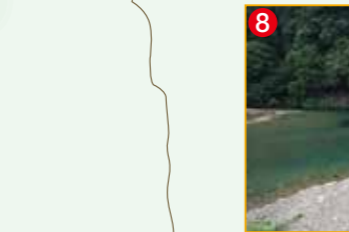
6 雲取温泉



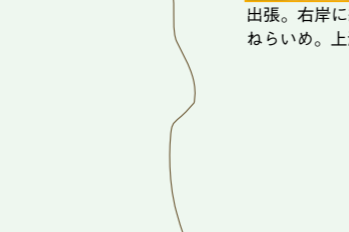
5 雲取温泉



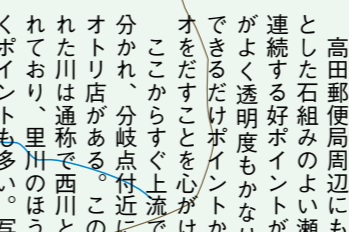
4 雲取温泉



3 雲取温泉



2 雲取温泉



1 雲取温泉



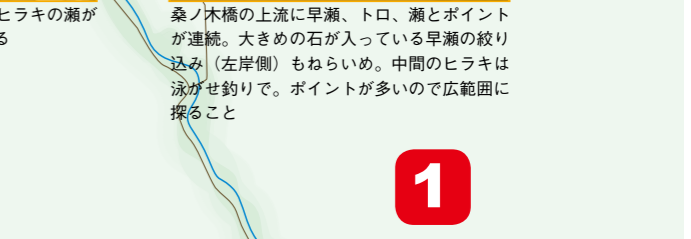
- 凡例**
- オトリ店
 - 駐車スペース
 - 入川口、入川道
 - 撮影場所・方向
 - WC 公衆トイレ
 - ガソリンスタンド
 - コンビニ



1 たかだ



2 たかだ



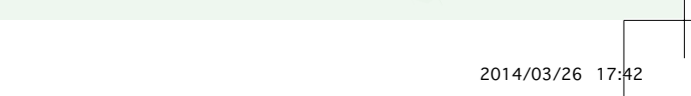
3 たかだ



4 たかだ



5 たかだ



6 たかだ

2 赤木川下流

熊野川の支流を代表する支流の1つで一番の人気河川だ。水質、透明度は抜群で、特にここで育った美形のアユは香りもよく大変重宝されている。

釣り場は下流域から上流域まで広大で河原も広くのんびりと釣技に合うポイントで、丸一日楽しむことができるのも魅力。駐車スペースもありトイレも完備されているので、ファミリーで出かけても充分楽しむことができる。

下流域からずっとフラットな川相で頭ほどの玉石がびっしりと敷き詰められるように入っており、ほればれするようなポイントが連続する。

どちらかといえば、初期は上流部。盛期以降は下流部で数釣りというイメージ。しっかりオトリを管理しながら広範囲に泳がせることを考えて釣ってみたい。ハマれば面白い釣りができると思う。

天然遡上に加え放流も上流部までキッチリされており、好みのポイントを選んで入川できるのもこの川の魅力の1つ。

瀬肩やト口場に無数のアユがよく見えるが、透明度が高い分、アユの警戒心も強いので、できれば日当たりを考慮してサオの影が水面にかからないようにならうと入れ掛かりになるかも？

ポイントによっては大石が入っている変化に富んだ流れもあり、きれいな良型アユが気持ちよく目を飛ばしてくれる。

- ### 熊野川のオトリ店
- 高田川 堀切 ☎ 0735-29-0068 岡崎 ☎ 0735-29-0259
 - 赤木川 中村 ☎ 0735-45-2008 南方商店 ☎ 0735-45-2007
 - 大塔川 谷口理髪店 ☎ 0735-42-0381 大塔恵樹園 ☎ 0735-42-1074
 - 四村川 東酒店 ☎ 0735-42-0469 中峯順治 ☎ 0735-42-1238
 - 熊野川 千石亭 ☎ 0735-42-1618

- ### Guide
- 管轄漁協 熊野川漁業協同組合 ☎ 0735-21-4193
 - 解禁日 6月1日
 - 入漁料 年券1万円+消費税、日券3000円+消費税。18歳以下は無料
 - 釣況問い合わせ 熊野川漁業協同組合
 - 交通 京阪神方面からは阪和道の田辺ICから国道42号・田辺バイパス、国道311号で富田川沿いを進み中辺路を経由して四村川の上流から本宮、新宮方面に至るルートが最短



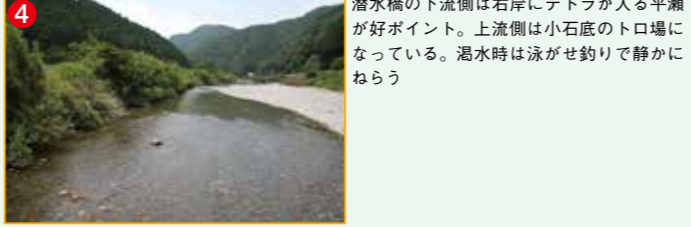
赤木川は河原が広い場所が多く、自分の好みのポイントでじっくり腰を据えてねらうことができる



7 左岸に流れが寄っている瀬で大石が点在。増水後もアカが残りやすいポイント



5 水落としの淵の上。玉石底のチャラ瀬と平瀬が続く好ポイント



3 潜水橋の下流側は右岸にテトラが入る平瀬が好ポイント。上流側は小石底のト口場になっている。濁水時は泳がせ釣りでも静かにねらう



2 チャラ瀬とト口場が連続する広い釣り場。駐車スペースは広く4WD車なら河原にも入っている

3 あかぎ 赤木川 上流

初期は放流アユが中心となるが、天然遡上が多い年は早い時期に遡った元気なアユが果敢にオトリに反応して楽しませてくれる。盛期になる7月後半から9月ごろは型もよくなり、遡上が多い年なら3ヶ付近の数釣れることも多い。ただドンコ（ボウズハゼ）と呼ばれる黒いハゼが多いのも特徴で、あまり多く掛かってくることも多い。たまたま、付きアユが少ないことが考えられるため、少しポイントがスラスラと大幅に場所移動したほうがよい場合がある。

和田川合流点の上流にある小口自然の家周辺は十分な駐車スペースがあり、瀬ありトコあり淵ありで変化に富んだ格好のポイントが連続している。

中の川より上流にも多くポイントがありサオ釣り専用区になっているが、道路が狭く駐車スペースも限られるので入川する際には注意。上流域を含めて山間部の河川では、お盆あたりからアユが多くなるので、虫除けスプレーの準備はもちろん、できるだけ黒い服装は避けたい。



小口自然の家、第一高倉橋周辺は石の大きな瀬、玉石底の平瀬、チャラ瀬、トコ場、淵が連続する変化に富んだ好ポイント。良型まじりで数釣り可能。自然の家手前に広い駐車スペースとトイレがあり自然の家横から楽に入川できる



第一高倉橋を上流に向けて渡り、すぐの道を左に入ったところにオトリ店がある。(☎ 0735-45-2008)



中の川橋のすぐ上流。頭大の玉石がぎっしり敷き詰められた釣りやすい好ポイント。瀬のヒラキからトコ場で数釣りができる



中村オトリ店の向いにある民宿。熊野古道巡りのお客さんが多く宿のご主人は語り部の資格を持つ



東の川に架かる小さな橋の北側にある食料雑貨店でオトリも販売している。(☎ 0735-45-2007)



東の川。南方商店横。狭い流れだが赤木川本流が増水でアウトの場合の逃げ場



四輪駆動車なら小和瀬橋から広い河原を走ってこのあたりまで入って来れる



小和瀬橋周辺は小さめの玉石底で河原が開けたエリア。トコとチャラ瀬がメインなので泳がせ釣りでも広範囲を探る



県道から離れており分りにくい場所だが夏のシーズン中は簡易トイレが設置されている。対岸のところどころにテトラがある



大石がゴロゴロあり景色がよいところ。良型が期待できる

おおとう 大塔川

4

川湯温泉の前を流れる清流が大塔川。仙人風呂が有名で、この付近の河原を掘れば温泉が出てくる透明度抜群の河川。他の支流にくらべて若干水温も高く小型中心の数釣りになるが、年によって12月ごろまでアユ釣りができる。川と道路が離れている場所が多く川が蛇行しているのも、ポイントが分かりにくいのが、橋が架かる場所などを目安にすれば河原まで下りられる場所も多い。ただし夏休みはバーベキューや水遊び客も多いので注意。

川相はフラットで玉石底の瀬にチャラ瀬と浅いト口場が連続している。平水時は水量も少ないので静かにオトリを泳がせてねらうように心がけたい。

瀬井谷橋付近まで上がると川相が変わり岩盤が多くなり玉石底プラス岩盤底の好ポイントが連続する。水の透明度がさらに高いので岩盤底に付いているアユの見釣りに、ついつい夢中になってしまいが、流れの中や少し大きめの石に付いている元気なアユをオトリに替えてからねらったほうが掛かる確率が絶対アップする。

さらに上流は2013年8月現在では通行止めだったのでポイントの紹介はしていないが、同じようなポイントが連続する。大塔川も例にもれず、お盆ごろからアユが多くなるのでしっかり対策をしておきたい。



1 四村川出合から少し上流、本宮小学校横。玉石底のポイントだが水泳、水遊びも多い



2 川湯温泉街の前は玉石底のチャラが広がるが観光名所だけに水遊びや水泳客が多い



3 瀬井谷橋付近まで上がると川相が変わり岩盤が多くなり玉石底プラス岩盤底の好ポイントが連続する。水の透明度がさらに高いので岩盤底に付いているアユの見釣りに、ついつい夢中になってしまいが、流れの中や少し大きめの石に付いている元気なアユをオトリに替えてからねらったほうが掛かる確率が絶対アップする。



川湯温泉公共浴場。8～21時まで入浴可。料金は大人250円、小人130円



川湯温泉にあるアユ釣り客御用達の民宿。館内の内湯ももちろん温泉



熊野川本流と大塔川・四村川が合流する地点にある理髪店でオトリを販売している。(☎0735-42-0381)



11 小さな流れ込みに架かる瀨井谷橋手前に駐車スペースと手すり付きスロープと階段がある



10 吊り橋下周辺は石も小さくいまいちだが上流に瀬がある



9 東和田バス停から少し上流で狭い道を入れていくと駐車スペースがあり吊り橋を渡った左側から入川できる



12 瀨井谷橋の階段を下りたところは岩盤の瀬になっている



●漁協監視員詰所
広い駐車スペースと漁協の監視小屋がある。入川も非常に楽



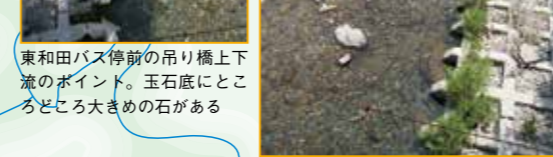
大塔恵樹園 (オトリ)
上大野地区、県道沿いにあるオトリ店。看板が分かりにくいので注意。(☎0735-42-1074)



15 宮の瀬は大石ゴロゴロ、岩盤が連続する絶好のポイント



14 岩盤底に玉石のポイントが連続、その間にト口場もありアユの姿が多く確認できる。泡の中や少し変化のある瀬で反応があるのでポイントを移動しながら拾い釣りすると数を稼げるだろう



8 東和田バス停前の吊り橋上下流のポイント。玉石底とところどころ大きめの石がある



5 橋の手前から旧道を進むと入川できるスロープがある



4 開けた広い河原に潜水橋がある玉石の浅場。河原手前に駐車できる



6 玉石のトロとチャラのポイント。泳がせ釣りや広範囲をねらう

熊野川エリア⑥ ← 熊野川エリア⑤ ← 熊野川エリア④ ← 熊野川エリア③ ← 熊野川エリア② ← 熊野川エリア①



観音橋を渡ったところから川に下りられる。短い瀬と淵が連続するが川通しできるので広い範囲を探り歩くと数が稼げる
 中峯オトリ店の裏。河原は広く足場もよく釣りやすいポイントが多い。スロープがあり楽に川まで下りられる
 川沿いの旧道をさらに下ると吊り橋手前から川に下りられる。玉石底の平瀬の好ポイントが広がっている
 皆地橋の下流には変化に富んだ好ポイントが点在するので橋周辺から釣り下る



放流量が多い人気ポイントで釣り人が多いので広く探るほうがよい。国道沿い約1kmにわたって岩盤底と玉石が入ったポイントが連続している。各所に階段があり入川は楽

中峯順治 (オトリ)

東酒店 (オトリ)

湯の峰温泉

渡瀬温泉



武住トンネルの西側すぐにあるオトリ店。お店の裏が好ポイントになっている。(☎0735-42-1238)



小々森地区の国道311号沿いにある酒店でオトリを販売している。(☎0735-42-0469)



日本最古の湯として知られる湯の峰温泉には温泉旅館のほか公衆浴場、30分交代制のつば湯などがある



ホテルささゆり、やまゆり、ひめゆり、大瀬温泉旅館のほか公衆浴場、30分交代制のつば湯などがある

至・近霧、富田川方面

平井郷 (最上流の稚アユ放流地点)



鉄製の橋だが車両は通行できないようになっていた(2013年7月現在)



平井郷がアユ放流の最上流地点。渓流相で増水時は面白い。9m ザオも使えませんが8m がベスト



約1km



大瀬トンネルの西側から旧道に入ったところ。岩盤底の平瀬と玉石底のポイントが続く。コンクリートのスロープがあり入川は楽



東酒店

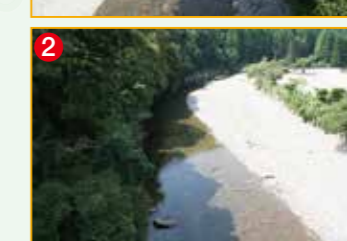
松葉バス停の
ところから楽
に入川できる



オトリを販売する東酒店前のポイント。国道がすぐそばを走り河原もなく川幅も狭いが玉石底のチャラや瀬が続く。階段が3ヵ所あり入川は楽



渡瀬温泉の上手に架かる橋から下流向きを撮影。玉石底のポイントで右岸側の河原まで車で下りることができる



耳打橋の上下は玉石底が連続する天然瀬上が多いポイント

田辺市の中辺路町の小広トンネルを越えた付近から国道311号沿いを東へ流れるのが四村川。全体的に渓流相の川で、けっこう流域が長くポイントが多く点在するのが特徴。特に放流アユが元気で数釣りできるのが魅力。この川も水質抜群で美形なアユがよく釣れる人気河川のため釣り人がけっこう多いので、トラブルのないようマナーを守って楽しみたい。見た目よりは水量があり大きな石と岩盤や玉石が敷き詰められていて、1日楽しめる場所もたくさんある。下流部には湯峰温泉や渡瀬温泉などがあり宿泊施設も多くあるので、泊まりがけで釣りを楽しむのもいい。下流域は玉石底の開けたポイントも多く松葉バス停付近には、岩盤底と玉石が入りまじった瀬が連続する。入川しやすいうえに面白いポイントだ。国道沿いにはオトリ店があり放流場所や釣れているポイントなどの情報も親切に教えてくれるので大いに活用したい。国道から離れた旧道にもよいポイントが多くあるので、釣り人の数を見ながらポイントを選べばよい。水量や天候、アカの付き具合にもよるが、比較的薄めの茶色系で多いのが特徴。黒い光った石も多いのだが、アカ腐れで黒くなっている場合があるので注意。

四村川

敷屋大橋、下向橋

6

宮井大橋から上流、田辺市本宮町周辺の熊野川本流部は広大な河原一面に広がる頭大の玉石が壮観だ。あまり変化がないように見える流れの中に凹凸があり、掛かる時は、どこからともなく野アユが飛んでくるといふイメージ。ちよとした表層の流れの変化がそのまま底石の変化となっている場合が多いので、それを目安に釣るとよい。少し大きめの石が入っている場所や水深の変化もねらいめとなる。

このエリアも釣期が長く11月後半まで楽しめる。またシーズン後半は意外と浅いチャラ瀬やヘチで、数釣りができる。右岸から左岸へ、またその逆でも川を渡ることはできないが、四輪駆動車なら広大な河原をどんどん走って行くことができるので、ポイント近くに車を横付けできるのも魅力。

敷屋大橋から上流に瀬とト口場が連続した人気ポイントがかなりあり、特に西敷屋の瀬は数釣りの好ポイントで例年、3ヶタ釣りができる。

その上流には四村川・大塔川の合流点がある。合流点は水温の変動があるので、よい時と悪い時とムラがあるので流れの変化ができるので、ねらってみる価値あり。

広大な川だけに広範囲にポイント移動してサオ抜けを捜してみるのもよいだろう。超入れ掛かりの可能性があるので、この川の最大の魅力だ。



敷屋大橋の上流。玉石がざっしり入っている平瀬がメインで左岸のヘチまでアユが付いているのを際までねらえる。水面のシワや大きめの石裏からじっくりと泳がせる



はぎの瀬周辺。瀬肩やト口場に入れ掛かりになるかも。はぎの瀬周辺だけでなく本流筋は広大な河原が続くので4WD車の機動力に頼るのがベスト



高津橋周辺も玉石底の平瀬が中心。大塔川・四村川との出合の下流にあたるが上流とは水温の差があるので注意



友釣りのポイントとして期待できるのは下向大橋の周辺まで



初期から放流ものに加えて天然遡上アユも掛かるが本格的なシーズンはお盆を過ぎでから。8~10月が面白い



初期から放流ものに加えて天然遡上アユも掛かるが本格的なシーズンはお盆を過ぎでから。8~10月が面白い



大塔川・四村川との合流点から少し下流にある焼肉店でオトリも販売している。(☎0735-42-1618)



熊野川エリア⑥ ← 熊野川エリア⑤ ← 熊野川エリア④ ← 熊野川エリア③ ← 熊野川エリア② ← 熊野川エリア①